UNI-PEX

取扱説明書

ミュージックチャイム
MZ-1203

このたびは、ミュージックチャイムをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

目次

安全上のご注意……1〜3
設置・使用上のご注意［免責事項について・お願い］……3、4
特長……4
各部の名称と説明(前面／後面)……5
準備作業……5
■操作／設定方法 ①音源（再生曲目)の設定……6
②ディレイ時間の設定……6
③音量の設定……7
④演奏方法……7
■施工方法 ①接続例……8
②入出力仕様……9
③結線方法……9
④EIA規格ラックへの取り付けかた……10
故障かな？と思われましたら……10
雑音が発生する場合は……10
ノイズ対策について……11
定格……11
外観寸法図……12

安全上のご注意　必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

◇記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する
煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、販売店などにご連絡ください。

工事は工事店に依頼する
工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解／改造はしない
火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない／濡らさない
水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

定期点検を実施する
専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

サービスコンセントに接続する機器の消費電力の合計は、機器に表示しているW数またはA数を超えない
火災の原因となります。音響機器以外は接続しないでください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線、スピーカー線や電源プラグには触れない
感電の原因となります。

この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない
こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かない
火災の原因となります。

電源コードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。

不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

間隔をおいて設置する
内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。

重量に耐える取り付け、設置をする
取り付け、設置の場所や方法が不適切な場合、落下や転倒などでけがの原因となります。取り付けは販売店に依頼してください。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
電源を入れる前にはアンプの音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。	
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。	
長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災の原因となることがあります。	
本機を電源コンセントの近くに置いて使用する 万一の事故防止のため、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにして使用してください。	
濡れた手で、電源コードを抜き差ししない 感電の原因となります。	
移動するときは、コード類を傷つけない 火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。	
この機器に乗ったり、ぶらさがったり、足場代わりにしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
廃棄は専門業者に依頼する 燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。	
テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら必ずスピーカー端子盤カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。	
１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。	

設置・使用上のご注意

●EIAラックに組み込む場合は、本機と電力アンプの間には必ず、1U以上の間隔を開けてください。別売の換気パネル RIB-1F（別売品）を取り付けることをおすすめします。

●次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。

・使用温度範囲をこえる－10℃以下、＋50℃以上の場所
・使用湿度範囲をこえる85%以上の場所
・屋外などの雨や日光に直接当たる場所
・結露が生じる場所
・亜硫酸ガスやアンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所
・激しい振動や衝撃が発生する場所

●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。

※高周波機器(乾燥機,医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

●本機は待機状態（動作表示消灯）であっても通電動作がおこなわれていますのでご注意ください。

遮断装置について

●本機には電源スイッチがありませんので、本機の電源プラグが遮断装置になります。

●本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くに設置してください。

●ラックなどに組込む場合は3㎜以上の接点距離を有する電源スイッチまたは、配線用遮断器を設置してください。更に、それらは保護アース導体を除く、主電源のすべての極が遮断できなければなりません。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など

②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害

③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害

④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害

⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ②電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。 ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。 ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特　長

1．5曲の音源を内蔵

本機は、簡潔な放送を行う上で必要になる5種類の内蔵音源を搭載し、2つのチャンネルに対して設定ができます。

音源は下記の曲目を有しています。

①時刻をしめす、ウェストミンスターチャイム（速度3段階）

②呼び出し音として利用できる、1音、2音、4音チャイム

③体力向上と健康の保持を促す、号令付ラジオ体操（第一）

（6ページの「操作／設定方法－音源（再生曲目）の設定」参照）

2．鳴動までの時間設定が可能

チャイムの起動から再生を行うまでの時間を、1秒刻みに0秒～9秒の設定可能です。アンプの起動時間に合わせた鳴動の開始が行えます。（6ページの「操作／設定方法－ディレイ時間の設定」参照）

3．2種類の起動方法

起動方法、前面からのボタンによる手動での演奏と、外部からのメーク信号による端子台からの起動が可能です。タイマー等からの自動起動や、人による任意のタイミングでの呼び出し音鳴動、ラジオ体操の演奏が可能になります。（7ページの「操作／設定方法－演奏方法」参照）

4．ラックマウントが可能

ＥＩＡ規格ラックへの取り付けが可能です。（10ページの「施工方法－EIA規格ラックへの取り付けかた」参照）

各部の名称と説明

（前面）

ディレイ設定スイッチ
起動が行われてから、音源の演奏を開始するまでの時間を設定します。（6ページの「操作／設定方法－ディレイ時間の設定」参照）

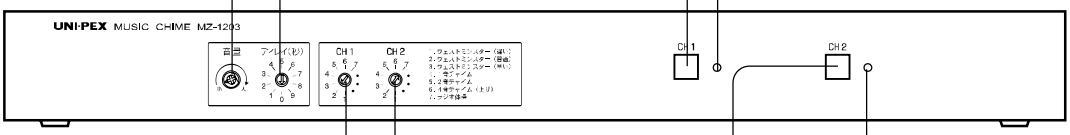
音量調節器
チャイムの音量を調節します。（7ページの「操作／設定方法－音量の設定」参照）

CH1曲目設定スイッチ
チャンネル1で演奏をおこなう音源の選択をおこないます。（6ページの「操作／設定方法－音源（再生曲目）の設定」参照）

CH2曲目設定スイッチ
チャンネル2で演奏をおこなう音源の選択をおこないます。（6ページの「操作／設定方法－音源（再生曲目）の設定」参照）

CH1手動起動ボタン
このボタンを押すと、チャンネル1で指定された音源が演奏／停止されます。（7ページの「操作／設定方法－演奏方法」参照）

CH1動作表示灯（緑）
チャンネル1の音源演奏中に点灯します。CH1曲目設定スイッチが設定範囲外「・」に設定されていると点滅します。（6ページの「操作／設定方法－音源（再生曲目）の設定」参照）



CH2動作表示灯（緑）
チャンネル2の音源演奏中に点灯します。CH2曲目設定スイッチが設定範囲外「・」に設定されていると点滅します。（6ページの「操作／設定方法－音源（再生曲目）の設定」参照）

CH2手動起動ボタン
このボタンを押すと、チャンネル2で指定された音源が演奏／停止されます。（7ページの「操作／設定方法－演奏方法」参照）

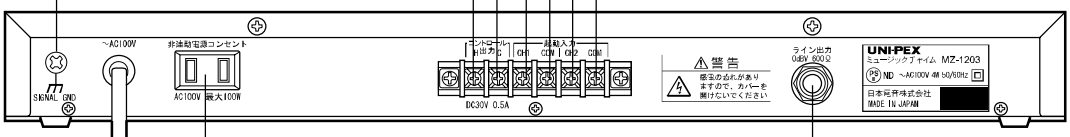
（後面）

コントロール出力端子
アンプの起動に使用します。（6ページの「操作／設定方法－ディレイ時間の設定」参照）

アース端子
このアース端子は他の音響機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アース(接地用)ではありません。

CH1起動入力端子／ＣＯＭ端子
プログラムタイマー等からのメーク接点によりチャンネル1の演奏を開始します。（7ページの「操作／設定方法－演奏方法」参照）

CH2起動入力端子／ＣＯＭ端子
プログラムタイマー等からのメーク接点によりチャンネル2の演奏を開始します。（7ページの「操作／設定方法－演奏方法」参照）



電源コード
電源プラグをＡＣ100Ｖコンセントに接続してください。

サービスコンセント(非連動)
音響機器以外は接続しないでください。

⚠警告 接続する機器の消費電力の合計が100Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。

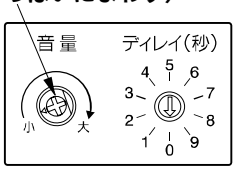
ライン出力ジャック
（0dBV　600Ω　不平衡）
アンプのライン入力などに接続します。（9ページの「施工方法」参照）

準備作業

①電源プラグをＡＣ100Ｖコンセントに接続する。

②チャイム音量が最小になっている事を確認する。
操作により大きな音が突然発生する恐れがありますので、本機の音量調節器は必ず最小位置 （出荷時の設定）にしてから設定をおこなってください。

音量調節器を最小位置にする（左いっぱいにまわす）

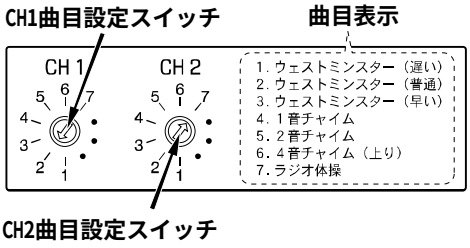


操作／設定方法

●出荷時の各設定内容は下表のとおりです。

設定項目	CH1再生曲目	CH2再生曲目	ディレイ時間（CH1/CH2共通）	音量（CH1/CH2共通）
出荷時設定	[2] ウェストミンスター(普通)	[7] ラジオ体操	[0]0秒	[小]

音源（再生曲目）の設定

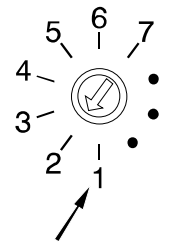


●音源（再生曲目）は前面パネルのCH1曲目設定スイッチとCH2曲目設定スイッチでそれぞれ設定ができます。下記の再生曲目表をご覧いただき音源を設定してください。

●正常にチャイム指定がされている場合の動作表示灯は消灯のままです。
設定範囲外「・」に設定されますと、そのチャンネルの動作表示灯が誤った設定である事を点滅して示し、そのチャンネルの起動入力を受け付けなくなります。

●出荷時の設定は、チャンネル1は「2」ウェストミンスター（普通）、チャンネル2は「7」ラジオ体操に設定されています。

CH曲目設定スイッチ

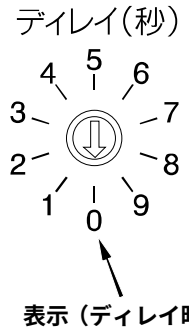


■再生曲目表

表示	再生曲目	標準再生時間	備考
1	ウェストミンスター（遅い）	約37秒	
2	ウェストミンスター（普通）	約28秒	CH1曲目設定スイッチの出荷時設定
3	ウェストミンスター（早い）	約20秒	
4	1音チャイム	約2秒	
5	2音チャイム	約3秒	
6	4音チャイム	約4秒	
7	ラジオ体操（第一）	約3分10秒	CH2曲目設定スイッチの出荷時設定
・	――――――	――――――	各動作表示灯が点滅して「誤設定」を表示

ディレイ時間の設定

ディレイ設定スイッチ



■ディレイ時間設定表

表示	ディレイ時間
0	0秒（出荷時設定）
1	1秒
2	2秒
3	3秒
4	4秒
5	5秒
6	6秒
7	7秒
8	8秒
9	9秒

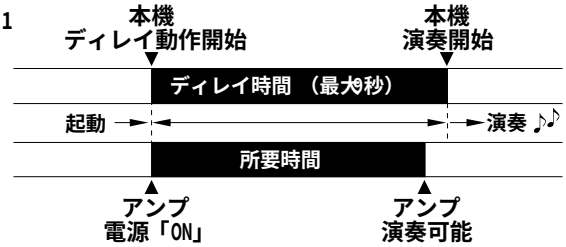
●ディレイ時間は前面パネルのディレイ設定スイッチで設定してください。

●本機からのメーク接点供給によりアンプの電源起動をおこなう場合はアンプが演奏動作をおこなえるまでの所要時間を確認し、ディレイ時間を設定してください。（図1参照）

●左記のディレイ時間設定表をご覧いただきディレイ時間を設定してください。設定はチャンネル1、2共通の設定です。

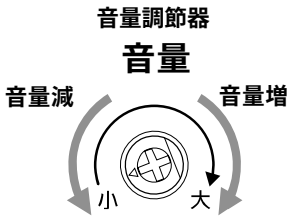
●設定には付属の調節ドライバーをご利用ください。

図 1



注）ディレイ時間の設定はアンプが起動してから演奏可能までの所要時間よりも短くならないようにご注意ください。
演奏開始時の音切れの原因になります。

音量の設定



●音量は前面パネルの音量調節器で設定してください。音量は右に回すと増加し、左に回すと減衰します。手動起動でテスト演奏をおこないながら音量を設定してください。

●音量はチャンネル1、チャンネル2共通の設定です。

●設定には付属の調節ドライバーをご利用ください。

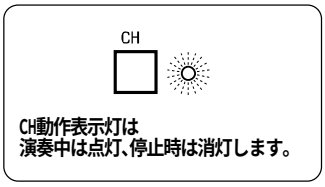
●出荷時の設定は左回しきり「小」位置に設定されていますので、演奏中でも演奏音は鳴りません。演奏をされるときは必ず音量の設定をおこなってください。

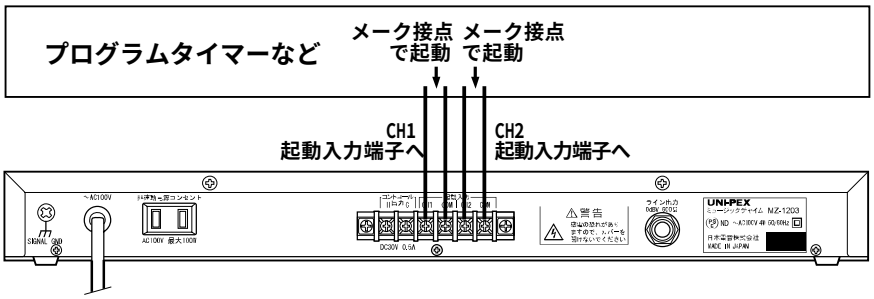
演奏方法

●演奏開始には次の2種類の方法があります。設定されたディレイ時間はどちらの場合も有効になります。

1．外部機器による演奏開始

●プログラムタイマーなどからのメーク接点によりそのチャンネルの演奏を開始します。演奏中はそのチャンネルの動作表示灯が点灯します。

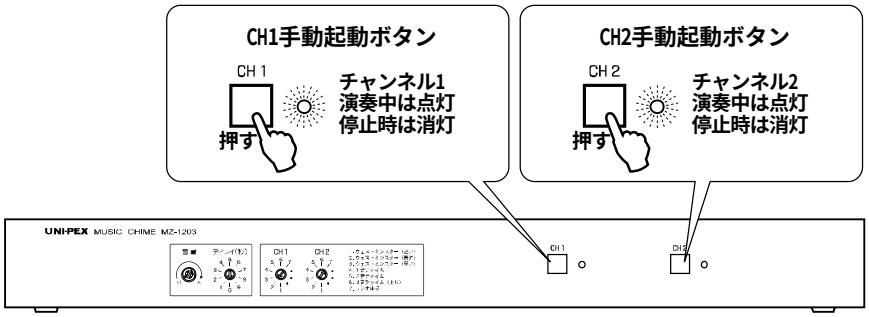




2．手動による演奏開始／停止

●本機の前面の各手動起動ボタンを押しますとそのチャンネルの演奏を開始します。演奏中にそのチャンネルの動作表示灯は点灯します。

●演奏中にその演奏を停止させる場合はそのチャンネルの手動起動ボタンを押してください。（起動入力端子への入力による演奏の停止はできません。）



優先順位について

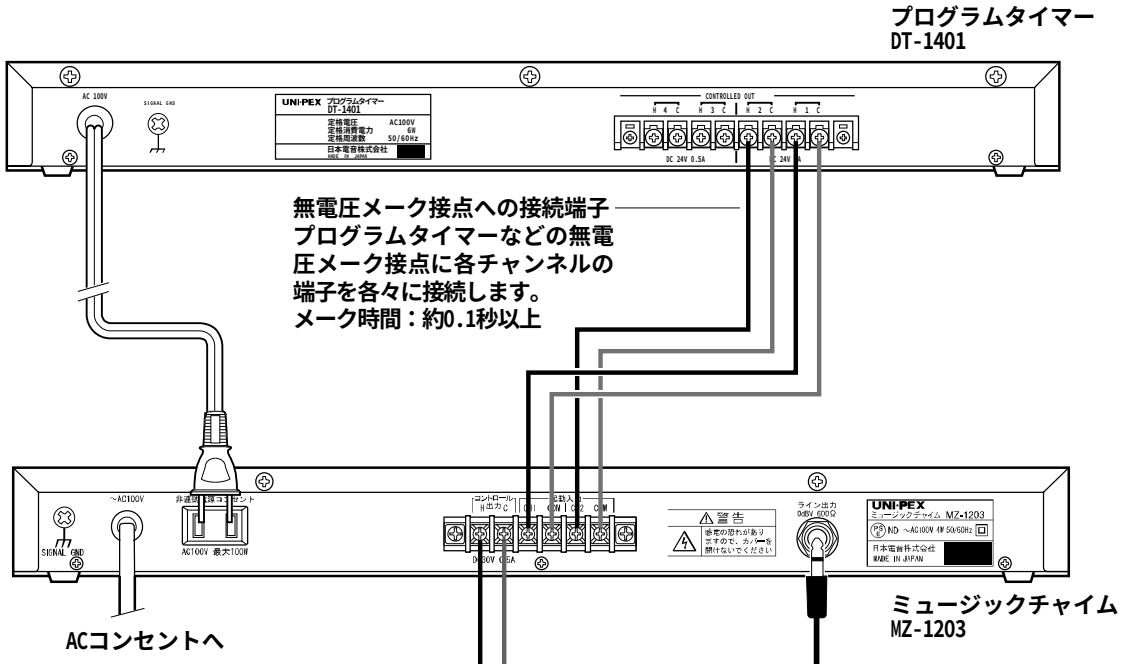
●手動、及び外部起動に関係なく各チャンネルの演奏の優先順位は後起動が優先となります。

・例えばチャンネル1を演奏中にチャンネル2の起動があると、チャンネル1の演奏が停止し、チャンネル2の演奏が開始します。（ディレイ設定は無視されます。）

・優先順位は前面の手動起動ボタン、後面の起動端子共に共通の動作をします。同時に起動がかかった場合は、チャンネル1がチャンネル2より優先されます。

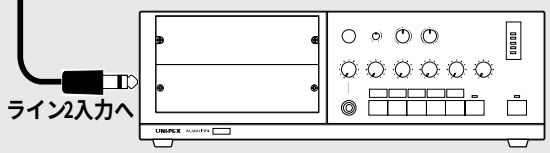
施工方法

接続例

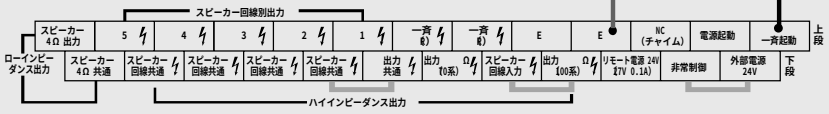


無電圧メーク接点
外部のアンプなどを起動するために使用します。BXシリーズなどの外部起動端子のあるアンプではその外部起動端子に接続しますが、外部起動端子のないアンプの場合は電源の入切が可能な装置（リレーボックスなど）を付加してください。

この接続方法ではアンプのスピーカーセレクターの状態に関係なくチャイム放送は一斉となります。



BXシリーズアンプ接続端子部



本機を接続するアンプは

- ●外部起動端子のある製品（弊社製品ではBXシリーズなど）
- ●電源に入／切が可能な装置を付加した製品

⚠ 警告 接続作業をおこなうときは、必ず本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

入出力仕様

■出力

●サービスコンセント（最大100W　非連動　ＡＣ100Ｖ）
音響機器専用です。他の機器は接続しないでください。

●ライン出力（定格0ｄＢＶ　600Ω　不平衡）
2極大型単頭プラグの接続可能な外部アンプ用の出力です。

●端子台／コントロール出力（最大ＤＣ30Ｖ 0.5Ａ）
無電圧メーク接点出力 （ａ接点）です。アンプの起動などに使用します。
出力端子間に電圧は発生しませんのでご注意ください。

■入力

●端子台／チャンネル起動入力
（開放電圧2Ｖ／短絡電流12ｍＡ／0.1秒パルス無電圧メーク接点入力）
外部からの演奏開始のための起動入力です。
0.1秒以上の無電圧メーク接点信号を入力することで動作します。
メーク信号を入れ続けても、1回の入力信号しか受け付けません。
演奏中にそのチャンネルの起動入力があっても演奏の停止はできません。

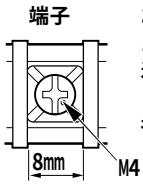
●手動起動ボタン／チャンネル起動入力
手動による演奏開始及び停止の為の起動入力です。
ボタンを押しっ放しにしても、1回の入力しか受け付けません。
端子台にメーク信号が入っている状態でもこちらの入力が優先されます。

結線方法

■線材の用意

○適合電線

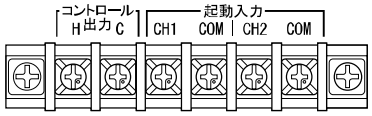
端子名	電線の種類
コントロール出力 起動入力	600 Vビニール絶縁電線 ・単　線：φ0.65㎜～φ1.2㎜ ・より線：φ0.5㎜～φ1.25㎜
音声出力	0.3㎟以上　1芯シールド線



お願い
より線を使用される場合は圧着端子のご使用をおすすめします。圧着端子は左記寸法を参考にしてご使用ください。

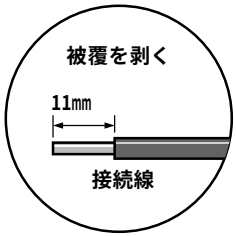
■接続線の加工

●各端子への接続

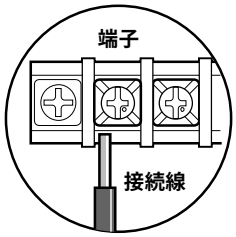


⚠警告 半田あげ線は絶対に使用しないでください。
不完全接触により火災の原因になります。

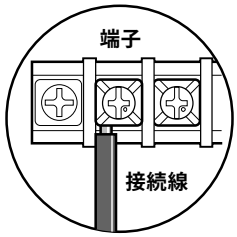
①接続線の被覆を剥く
（芯線の長さ約11㎜）



②端子のねじをゆるめ接続線を座金の下に差し込む



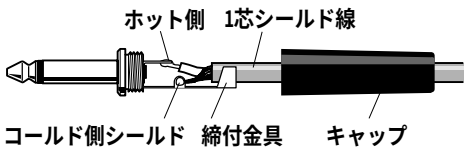
③接続線をねじで締め付ける
（締め付けトルク：1.4N・m）



●ライン出力ジャック用2極大形単頭プラグの結線例

お願い
使用されるプラグに合わせて1芯シールド線の末端処理をおこなってください。

2極大形単頭プラグ結線例

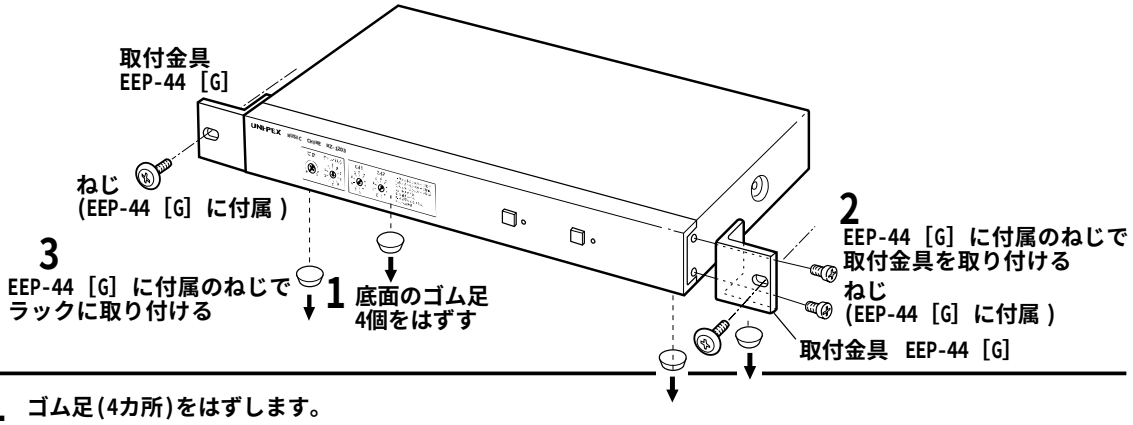


①2極大型単頭プラグのキャップをはずし1芯シールド線をキャップの中にとおす
②芯線とシールドをそれぞれ半田付けをする
③1芯シールド線を締付金具で締め付け、キャップをもとどおりに取り付ける

施工方法

EIA規格ラックへの取り付けかた

EIA規格ラックに本機を取り付ける場合は、別売のEIAラック取付金具EEP-44［G］で下図のように取り付けてください。



1 ゴム足(4カ所)をはずします。

2 本機の両端にラックマウント金具 EEP-44［G］(別売品)を取り付けます。
取付ねじ(4本)で確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ(EEP-44［G］に付属)で固定します。

メモ

- 電力アンプと一緒にラックへ取り付ける場合は、電力アンプと本機との間を1U以上あけてください。
- ラック内の温度が＋ 40℃以上にならないように、通風や換気を良くしてください。
- EIA規格相当のラックに取り付けられます。
- EEP-44はブラック仕上げ、EEP-44Gはグレー仕上げです。寸法はどちらも同じです。

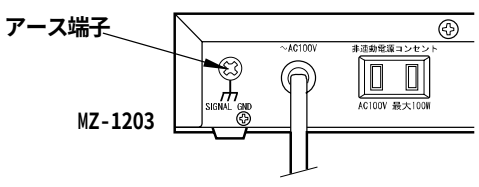
故障かな？と思われましたら

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

⚠ 警告
- 次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。

症　　状	点　検　項　目	対　　策
起動を受け付けない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	起動端子の入力は正しくおこなわれていますか。	0.1秒以上のメーク接点を供給してください。
		適切な配線をおこなってください。
音がでてこない	音量設定ができていますか。（出荷時の設定は「0」です。）	音量を設定してください。
	音源の誤設定により動作表示灯が点滅していませんか。	正しく音源を設定してください。
音が遅れる、途切れる	ディレイ時間の設定は正しくおこなわれていますか。	正しくディレイ時間を設定してください。

雑音が発生する場合は

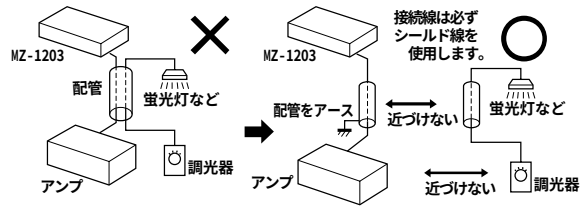


- 本機に他の音響機器を接続して使用しますと雑音が発生する場合があります。そのような場合は本機のアース端子と接続機器側のアース端子を接続してください。雑音発生の原因によっては雑音を軽減することができます。

ご不明な点がございましたら販売店までご相談ください。

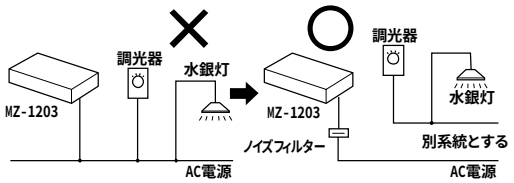
ノイズ対策について

外来ノイズの影響を受けないために 、配線については次のような点にご注意ください。



◆出力線のノイズ対策

調光器系統、AC電源系統とは必ず別配管とし、離して布線してください。



◆電源のとりかた

電源は調光器、水銀灯などの系統とは必ず別にしてください。それでも不十分な場合は本機へのAC100V電源線にノイズフィルターを入れてください。

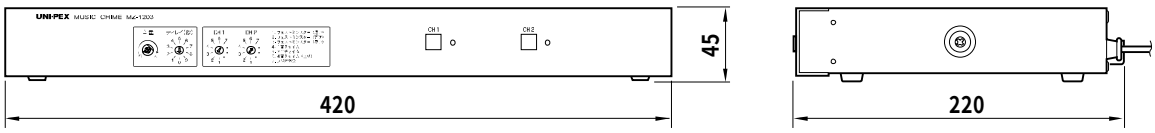
◆携帯電話の使用について

本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になります。
本機を使用中に携帯電話を使用される場合は充分ご注意ください。

定格

電源電圧	AC 100V(50Hz,60Hz)
消費電力	4W以下（再生時 電源電圧AC90V～110V時)
ライン出力	0dBV ±3dB 600Ω（不平衡)(１kHz定格出力時）
S／N比	70dB以上
ひずみ率	0.5%以下（１kHz定格出力時）
音声圧縮伸長方式	MP3形式(MPEG1 Audio Layer3)
再生ビットレート	128kbps
使用温度範囲	－10℃～＋50℃
表示	チャンネル動作表示灯 LED ×2 （緑） （停止チャンネル：消灯／再生チャンネル: 点灯／曲目設定範囲外 チャンネル：点滅）
操作部	手動起動ボタン タクトスイッチ×2（CH1/CH2）、 曲目設定スイッチ ロータリーディップスイッチ×2（CH1/CH2）、 ディレイ設定スイッチ ロータリーディップスイッチ×1、
端子	コントロール出力端子 ×1（無電圧メーク接点出力［出力接点容量：最大DC30V 0.5A］） 起動入力端子 ×2（CH1/CH2）（開放電圧：DC12V 短絡電流：12mA 0.1秒パルス無電圧メーク接点入力）
外装	パネル（鋼板）マンセル N4.5 近似色 グレー 塗装仕上げ カバー（ビニール鋼板）マンセルN1 近似色 ブラック
寸法	幅 420mm 高さ 45mm 奥行 220mm
質量	約2.5kg
曲目／演奏時間	①ウェストミンスター（遅い）／約37秒、②ウェストミンスター（普通）／約28秒、 ③ウェストミンスター（早い）／約20秒、④１音チャイム／約2秒、⑤２音チャイム／約3秒、 ⑥４音チャイム（上り）／約 4秒、⑦ラジオ体操（第一)／約3分10秒
遅延時間設定	0～9秒（CH1/CH2共通）1秒単位
起動方式	起動方式 無電圧メーク接点による自動演奏及び手動ボタンによるテスト起動 起動入力は後入力優先（同時入力時は下記の優先順位有り） 優先順位1：CH1手動起動ボタン（演奏開始及び停止可能） 優先順位2：CH2手動起動ボタン（演奏開始及び停止可能） 優先順位3：CH1起動入力端子 （演奏開始可能 停止不可能） 優先順位4：CH2起動入力端子 （演奏開始可能 停止不可能）
付属品	取扱説明書（保証書付)1、2極大形単頭プラグ 1、調節ドライバー1
適合品	EIA規格ラック用（1U）取付金具 EEP-44［G］

外観寸法図 (単位㎜)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

RKTMZ1203-H0-0